

『一生懸命』幻の新座市議会報告第69弾!



たかむらともや

2011年6月30日発行

6月議会

3.11の大震災後、初めての議会が終わりました。補正予算も一般質問も「防災」に関するものが多かったのが印象的でした。今回、語る会は補正予算に委員会から賛成しましたが、問題点も指摘しました。市内、25箇所に防災備蓄倉庫を作る予算が計上されていたのですが、肝心の「水」が常備されないことが分かったからです。水と食糧の備蓄は避難所になるところには絶対に必要だと思うのですが、「浸透水(ペットボトル)を備蓄している浄水場などから運ぶ予定です」という答弁を聞いて、ガッカリしました。大震災がきたら、その基地が大打撃を受けることもあるだろうし、道路が寸断されることもあるからです。どうやら水にも消費期限があることを気にしているようですが、防災備蓄倉庫に水は無くてもなりません。アルファ米も常備されますが、水が無ければ食べることはできません。断水を想定したら、水を備蓄するのは当たり前です。

修正案

今回の補正予算には共産党が委員会から反対していました。大震災直後の補正にしては、余りにも危機意識がない予算になっている。という理由でした。そして、修正案を提出したのです。そこには8月の臨時議会で提出予定の公共施設の耐震診断や旧新座小の防災倉庫建設費、そして東北へのボランティアに対する交通費補助などが組み込まれていました。旧新座小の防災倉庫は必要ですし、チームで東北支援に取り組んでいる僕としては交通費補助はありがたいので、語る会は本会議で修正案に賛成し、賛成討論もしました。政和会(自民)は原案に賛成討論、共産党は修正案に賛成討論、公明党は原案に賛成討論し、刷新の会(民主系)以外の全ての会派が自分達の考えを主張し、その結果修正案は否決(7対18)されました。その後、再度原案が採決され、語る会は原案賛成で起立し、原案は可決(19対6)されました。



6月19日(日)、黒目川の川掃除前の集合写真です。五中の教え子7人とひばりヶ丘の駅立ちで出会った友達3人がレギュラーで参加しています。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。「教育を語らせたら、止まらない男」です。都立石神井高校を経て北海道大学へ。77年から新座五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年初当選。一人会派

「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。4月より、仲間と東北の支援活動を継続的に行っている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。「黒目川川づくり懇談会」代表として川掃除に燃えている。新座五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、関東大会5回、全国大会2回優勝。学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。NHKの「おはよう広場」、最近では「インターネットテレビ」に出演。議員日記は7年と4ヶ月毎日更新。市民目線の議会報告を毎月発行。ホームページへのアクセスは15万5千回を超える。小中高生と先生・保護者の生の声を聞きながら、日々教育を考え「観光新座ではなく、教育新座」を訴えている。ご感想・ご意見をお待ちしています。たかやん



たかやんの応援団 で 検索



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

野次

議員になり、唯の一度も誰かを野次ったことのない僕ですが、今回の一般質問では野次り倒されそうになりました。30人を超える傍聴席からは恫喝ともとれる野次が飛んだのです。僕が主張したのは「総会前に会員に資料を渡す」「帳簿類や領収書は求められたら見せる」「役員決めは明らかなどころで行う」という当たり前のことでした。町内会と言えども、市民のみなさんから徴収した町内会費は「公金」です。その使い道は明らかにしなければなりません。例えば、予定になかった町内会慰安旅行を行い、集めた費用の倍近い金額を町内会で補助する。そりゃあ行った人は楽しいでしょうけれど、行かなかった大多数の人は何の断りも無く自分のお金を使われたことになります。その時に、「そんな使われ方は嫌だ！」と主張するには、まずその収支報告書が必要です。そして、総会でそのことを主張するのが筋です。でも、総会には出席すら出来ず、総会が終わってから回覧で回すようなやり方では、永遠にその主張は実現しません。6月議会では一番大きな町内会ということで野寺町会を取り上げましたが、他にも同じような総会、同じような会計処理をしている町内会はあると思います。「町内会にも入っていない議員が他の町会の事に口を出すなんて」とも言われました。おとなしくしていないと「ビラを撒く」とも言われましたが、気にしません。。真実が僕の味方だからです。「領収書を見せる必要はないと思います」と胸を張って言われても、誰も納得しない時代になってきているのです。胸を張りたいのなら、会計帳簿も領収書も見せればいいのです。役員選挙も総会で堂々とやればいい……。僕はどこかの町内会の代表ではありません。どこの組織とも何のしがらみもない、市民代表の議員として、信念を持って活動しています。市内には不満を持ちながら町内会に入っている人もいれば、町内会に入っていない人もいます。僕はその人達の代弁者でもあるのです。6月19日に野寺2丁目の「旭ヶ丘自治会」(野寺町会全体の9%を占める)が野寺町会から脱会しました。これからの自治会活動に注目していきたいと思います。

避難

6月議会では3月11日の児童生徒への対応の悪さも問題にしました。震災当日の生徒児童の下校方法は学校によって様々で、小学校での親の引き取りは2校だけでした。結果としては何事も起こりませんでした。家に子ども達だけで、大きな余震があったら・・・大変なことになっていた可能性があります。学校は避難場所になっているのです。どこにも連絡が取れず帰宅難民になった親たちは(学校にいてくれるはずだ)と思った人達も多かったはずです。学童保育室にいたっては、指導員が情報を得る機器(ラジオ・テレビ・パソコン)が無かったために、帰宅難民が出ていることすら知らず、下校させてしまったケースもあるようです。子ども達を守る為には、普段から学校と学童保育室の連携を強化し、災害時には協力して子ども達の安全にベストを尽くす体制作りが必要だと思います。そのマニュアル作りに「社協、保育室の指導員、保護者の意見を取り入れていく積りは？」との質問に、教育長の答弁は「マニュアル作りの策定委員会には入っておりません」というものでガッカリしました。連携と押し付けは違うのです。

続八石小学校東門

この議会での唯一の嬉しい答弁は「八石小東門前の道路の拡幅工事を夏休み中に行います」というものでした。昨年から訴えていたことがやっと実現するのです。本当に嬉しいですねえ。。



僕の新しい友達です。真理さん(左)と詩子(右)さんです。二人は大親友で学校一の秀才と学校一の不良だったそうです。詩子さんは天才彫刻家と音楽家。不良だったなんて、信じられませんね。